

高知県がん対策推進条例

平成19年 3月16日高知県議会で可決

(目的)

第1条 この条例は、がんが県民の疾病による死亡の最大の原因となっており、県民の意生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がんの予防及び早期発見の推進並びにがん患者がその居住する地域に関わらず等しく受けられる科学的知見に基づく適切ながんに係る医療（以下「がん医療」という。）の実現並びにがん患者の置かれている状況に応じた本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようながん医療を提供する体制の整備を図ることにより、がん対策を総合的に推進する事を目的とする。

(がん対策推進計画)

第2条 知事は、がん対策基本法（平成18年法律第98号）第11条第1項に規定するがん対策の推進に関する計画（以下「推進計画」という。）を策定するにあたっては、あらかじめ第II条第1項に規定する高知県がん対策推進協議会の意見を聴かなければならない。

2、前項の規定は、推進計画の変更について準備する。

(がん予防及び早期発見の推進)

第3条 県は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響に関する啓発及び知識の普及その他のがんの予防の推進のために必要な施策を講ずるものとする

2、県は、がんの早期発見に資するよう、がん検診の方法等の検討、がん検診に携わる医療従事者に対する研修の機会の確保その他のがんの予防の推進のために必要な施策を講ずるとともに、がん検診の受診率の向上に資するよう、がん検診に関する普及啓発その他の必要な施策を講ずるものとする。

(専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成並びに確保)

第4条 県は手術、放射線療法、化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成並びに確保を図るために必要な施策を講ずるものとする。

(がん医療の水準の向上)

第5条 県は、がん患者がその居住する地域にかかわらず等しくそのがんの状態に応じた適切ながん医療を受けることができるよう、専門的ながん医療の提供等を行なう医療機関の整備を図るために必要な施策を講ずるものとする。

2、県は、がん患者に対して適切ながん医療が提供されるよう、前項の医療機関その他の医療機関の間における連携協力体制の整備を図るために必要な施策を講ずるものとする。

3、県は、がん患者のがんの罹（り）患、転帰その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。

4、県は、前3項に掲げるもののほか、がん医療の水準の向上のために必要な施策を講ずるものとする。

(緩和ケアの推進)

第6条 県は、がん患者に対する緩和ケア（がんによって生じる身体的な苦痛並びに精神的及び社会的な不安を軽減し、患者の療養生活の質の維持向上を目的とする医療、看護その他の行為をいう。）を推進するため、関係団体及び関係機関との連携協力体制の下に、必要な病床の確保、がん患者の居宅におけるがん医療の提供その他の取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。

(がん医療に関する情報の提供)

第7条 県は、県民に対して第5条第1項に規定する医療機関その他の医療機関のがん医療に関する情報の提供を行なうために必要な施策を講ずるものとする。

(がん患者等への支援)

第8条 県は、第5条第1項に規定する医療機関その他の関係団体及び関係機関と連携して、相談窓口の整備を行なうなど、がん患者及びその家族又は遺族に対する相談支援等を推進するために必要な施策を講ずるものとする。

(県民の理解及び関心を深めるための施策)

第9条 県はね県民のがんに関する正しい理解及び関心を深めるため、啓発活動その他の必要な施策を講ずるものとする。

(国等との連携)

第10条 県は、国、他の地方公共団体、医療関係団体、医療機関その他の関係団体及び関係機関との連携を図りつつ、がん対策を推進するものとする。

(高知県がん対策推進協議会)

第11条 県に、推進計画に関し、第2条1項（同条第2項において準備する場合を含む）に規定する事項を処理するため、高知県がん対策推進協議会（以下この条において「協議会」という。）を置く。

2、協議会は、がん患者及びその家族又は遺族を代表する者、がん医療に従事する者並びに学識経験を有する者のうちから、知事が任命する15人以内の委員で組織する。

3、前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

付則

この条例は、平成19年4月1日から施行する。